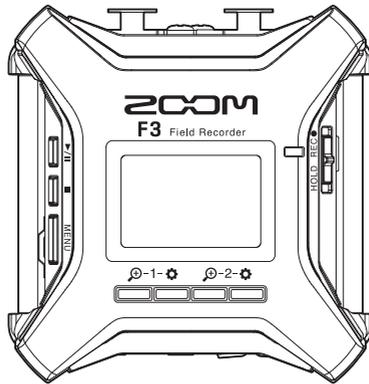


F3

Field Recorder



クイックツアー

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください



オペレーションマニュアルは、ZOOMのWEBサイト(www.zoom.jp/docs/f3)からダウンロードできます。このページには、PDF形式とHTML形式のファイルがあります。

PDFは、紙に印刷する場合やパソコンでの閲覧に向けたファイル形式です。

HTMLは、スマートフォンやタブレットでの閲覧に向けたファイル形式でブラウザで読むことができます。

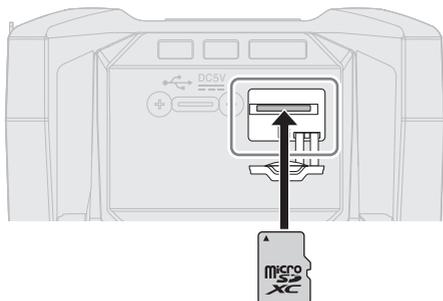
© 2022 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

本マニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

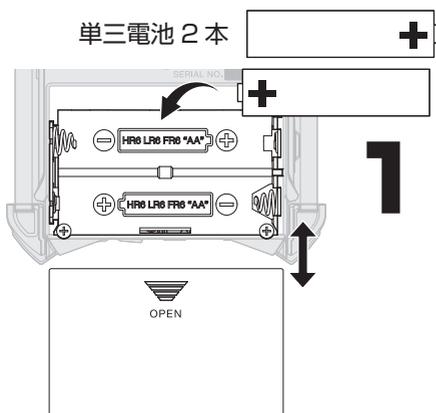
本マニュアルの内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

microSD カードをセットする



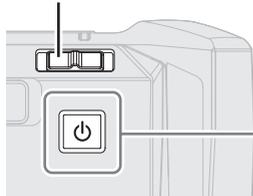
- 対応記録メディア
microSDHC、microSDXC
- microSD カードを抜き差しするときは、必ず電源を OFF にしてください。
- microSD カードを取り出すときは、一度スロットの奥に押し込んでから引き抜いてください。

電源を入れる



- アルカリ乾電池、ニッケル水素蓄電池、リチウム乾電池のいずれかを使用してください。
- 使用している電池の種類を設定すると電池残量を正確に表示できます。
- 市販のモバイルバッテリーや専用 AC アダプター (AD-17) を接続して、USB (Type-C) 端子から電源を供給することもできます。

HOLD になっていないこと



長押しで電源を入れます。

初回起動時の設定を行う

言語設定



1



2

日時設定



設定項目を選択して、
[✓] で決定します。



数字を変更して、
[ENTER] で決定します。



全ての項目を設定したら、
「OK」を選択して、
[✓] で日時設定を終了します。

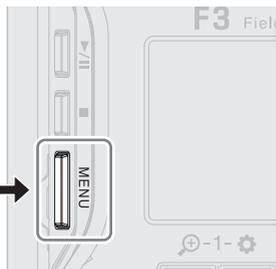
長期間 AC アダプターや電池から電源が供給されない状態が続くと、本体に記憶した日時情報がリセットされます。

電源起動時に日時の設定画面が表示された場合は、再度設定してください。

microSD カードをフォーマットする

新規でご購入いただいた microSD カードは、性能を最大限に発揮するために、必ずフォーマットしてください。

1



microSD カードをフォーマットすると、それまで保存されていたデータは全て消去されます。

2



4



3

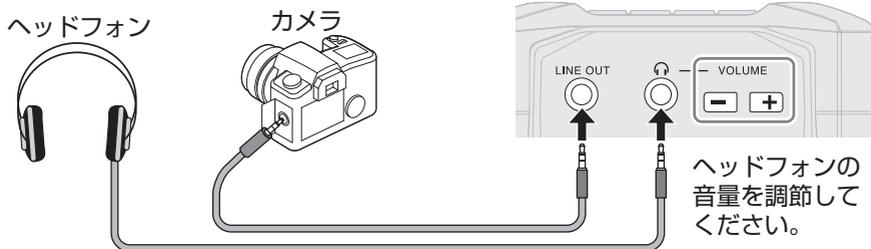
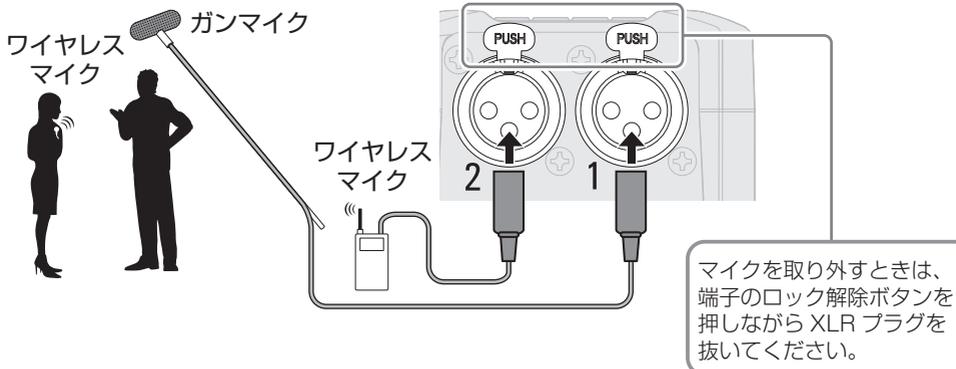


5



 を押すとホーム画面に戻ります。

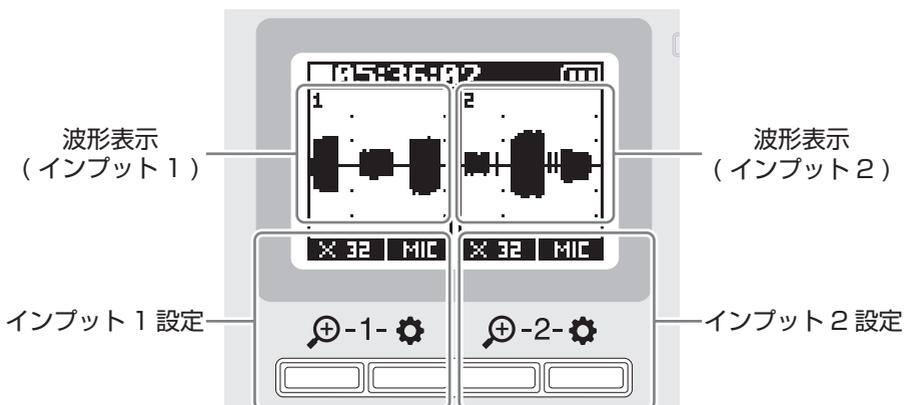
入出力機器を接続する



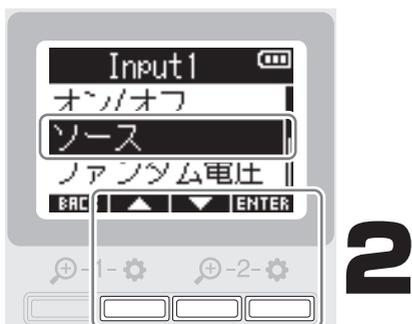
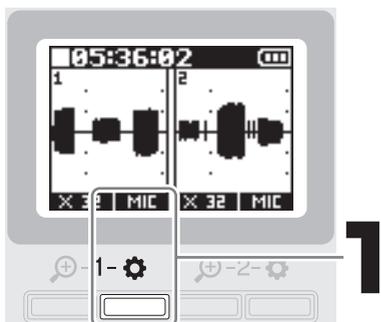
入力と録音の設定をする

■ホーム画面について

各インプットの波形と設定は、画面の左右に表示されます。



■接続した機器に応じて入力ソースを選択する



使用しないインプットは、「オン/オフ」を「オフ」にしておくこと録音されません。

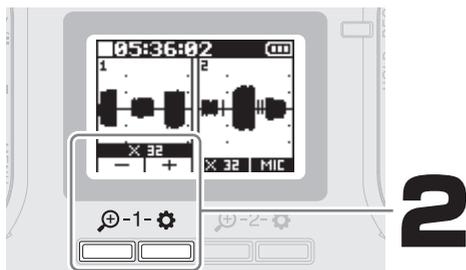
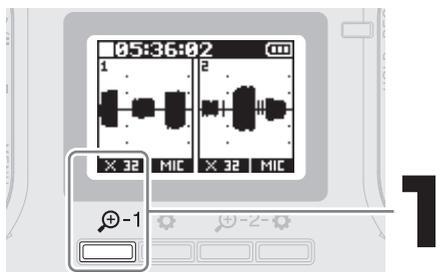


入力ソースを選択して、
 で決定します。
 インプット2も設定してください。

マイク	ダイナミックマイクを接続する場合
マイク (+48V)	コンデンサーマイクを接続する場合
ライン	ラインレベルの機器を接続する場合
ライン (+48V)	ファンタム電源を必要とするラインレベルの機器を接続する場合

- 「マイク (+48V)」または、「ライン (+48V)」を選択すると、ファンタム電源を供給します。
- ファンタム電源に対応していない機器にはファンタム電源を供給しないでください。機器が破損することがあります。

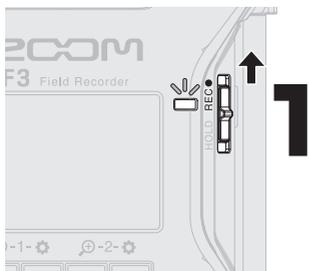
波形表示の拡大率を調節する



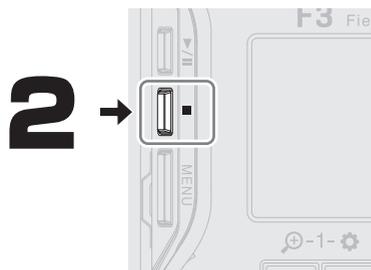
[-]/[+] (🔍) / (🔍) で波形表示の大きさを調節します。

- 拡大率を変えると音量が変化し、録音データにも反映されます。
- F3は 32-bit Float WAV 形式で録音するため、万が一モニター音が歪んで聴こえても、録音ファイルの音量を下げることでクリップの無い波形に復元することができます。

録音する



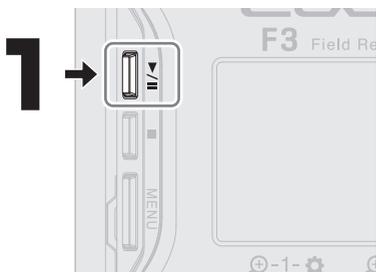
- インジケーターが赤く点灯します。
- 録音中に「HOLD」にスライドすることで、録音中の誤操作を防止することができます。



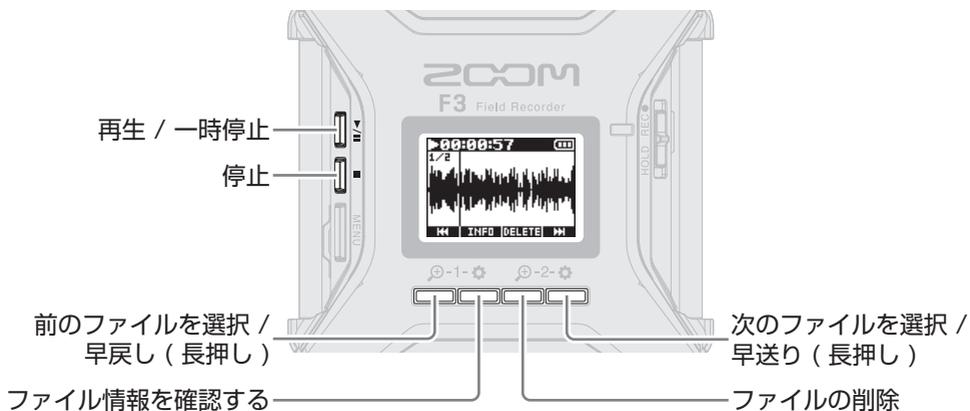
録音を終了します。

- HOLD REC を REC 方向にスライドさせることで録音を終了できます。

再生する

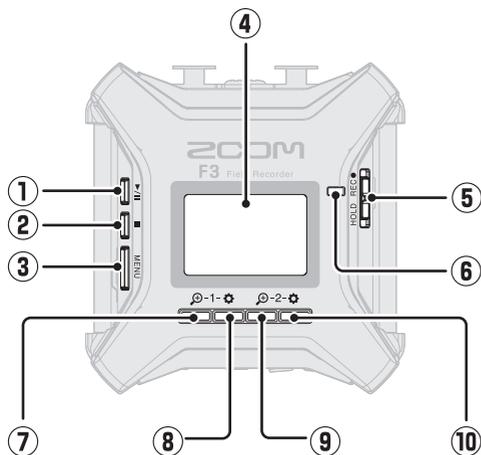


■再生中の操作

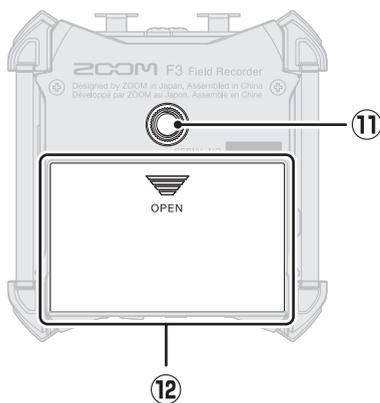


各部の役割

■本体上面



■本体底面



① PLAY キー

ファイルの再生または一時停止を行います。

② STOP キー

録音または再生を停止します。

③ MENU キー

メニュー画面を表示したり、ホーム画面に戻ります。

④ ディスプレイ

レコーダーの状態またはメニュー画面を表示します。

⑤ REC / HOLD スイッチ

録音を開始したり、キー操作を無効にします。

⑥ REC LED

録音中は点灯します。

⑦ ① キー

インプット 1 の波形表示の拡大率を調節します。

⑧ ① キー

インプット 1 の設定をするときに操作します。

⑨ ② キー

インプット 2 の波形表示の拡大率を調節します。

⑩ ② キー

インプット 2 の設定をするときに操作します。

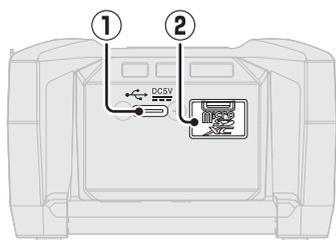
⑪ 三脚取り付けネジ穴

三脚などに F3 を取り付けるために使用します。

⑫ 電池カバー

単三電池の取り付け / 取り外しをするときに開けます。

■本体左側面



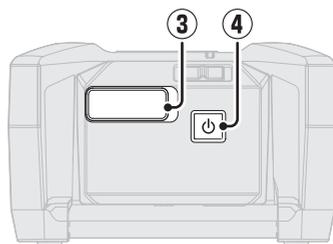
① USB 端子 (Type-C)

パソコンやスマートフォン / タブレットと接続して、SD カードリーダー、オーディオインターフェイスとして使用できます。USB バスパワー動作に対応しています。

② microSD カードスロット

microSD カードを挿入します。

■本体右側面



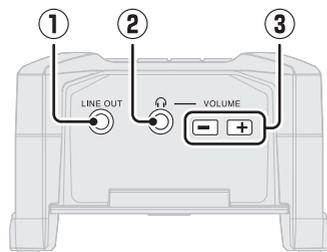
③ REMOTE 端子

専用無線アダプター (ZOOM BTA-1 など) を接続します。スマートフォン / タブレット用アプリケーション「F3 Control」を使って、スマートフォン / タブレットからワイヤレスで F3 を操作できます。

④ 電源スイッチ

電源を ON / OFF します。

■本体正面



① LINE OUT 端子

ステレオミニジャックを使用して音声を出力します。

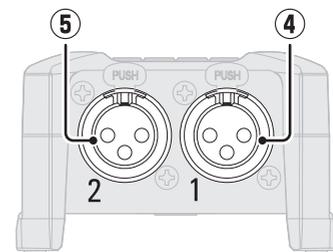
② PHONE OUT 端子

ヘッドフォンに音声を出力します。

③ VOLUME キー

ヘッドフォンの音量を調節します。

■本体背面



④ インプット 1

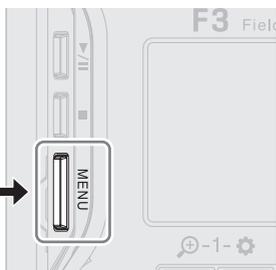
マイクを接続します。XLR プラグに対応しています。

⑤ インプット 2

マイクを接続します。XLR プラグに対応しています。

録音ファイルの形式を選択する（モノ / ステレオ）

1



2



3



4



「ファイルフォーマット」の設定に応じて、ヘッドフォン出力・ライン出力からのモニター音も以下のように変化します。
モノ : モノミックス
ステレオ : ステレオ (L : Tr1 / R : Tr2)

録音ファイル名を設定する

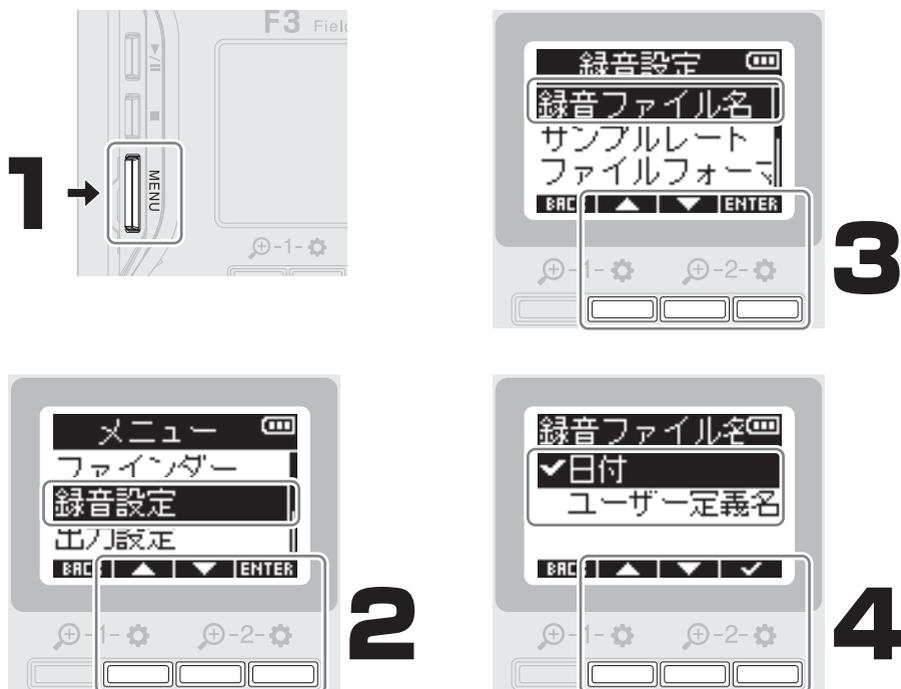
F3 では録音ファイルに以下の様な構成の名前を付けて管理します。
録音ファイル名、テイク番号は、録音ファイルのメタデータにも書き込まれます。

210101_001_Tr1.WAV

「ファイルフォーマット」の設定が「モノ」の場合、テイク番号のあとに「_Tr1」または「_Tr2」が書き込まれます。

テイク番号（録音ごとに1ずつ進む）

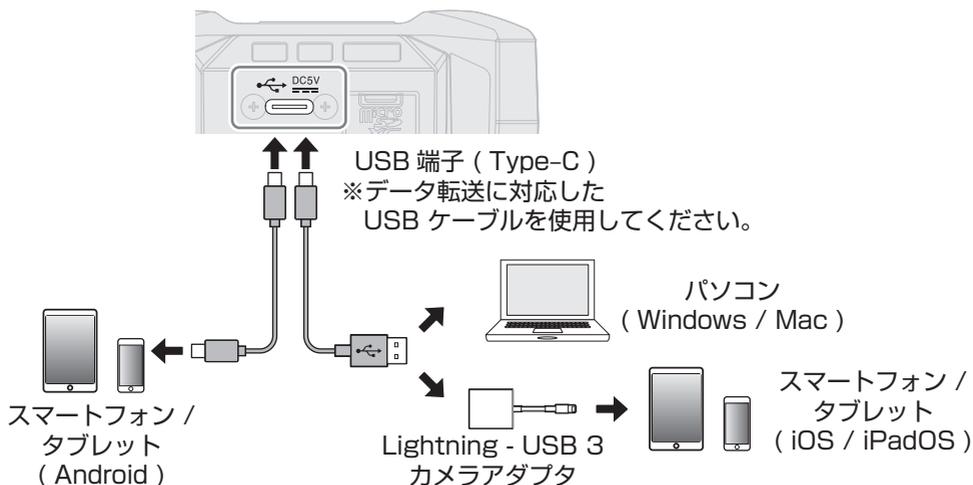
録音ファイル名（日付またはユーザー定義名から選択）



「ユーザー定義名」を選択すると、
任意の録音ファイル名を設定できます。

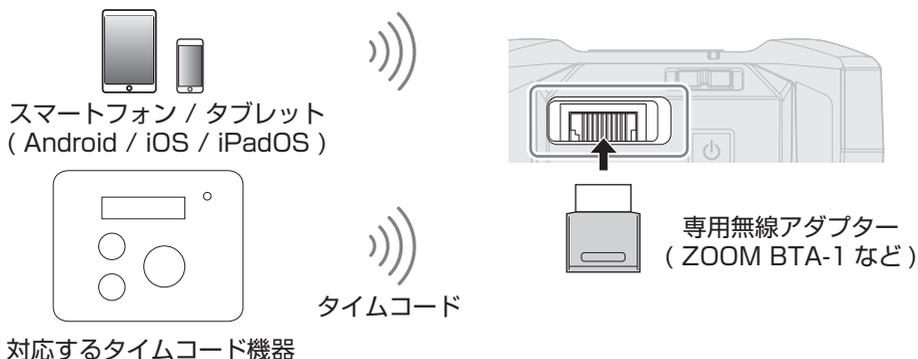
USB オーディオインターフェース

F3 をパソコンや、スマートフォン / タブレットのオーディオインターフェースとして使用することができます。



専用無線アダプター

F3 は専用無線アダプター (ZOOM BTA-1 など) を使用すると、スマートフォン / タブレット用アプリケーション 「F3 Control」 からワイヤレスで操作することや、対応するタイムコード機器からタイムコードを受信することができます。



その他の機能

HPF	入力信号の低域カット機能を設定します。 風雑音やボーカルのポップノイズなどを軽減できます。
位相反転	入力信号の位相を反転させます。 マイクのセッティングによって音が打ち消しあってしまったときに便利です。
ディレイ	各入力の音にタイミングのずれがある場合、それを補正して録音できます。
録音ファイル名	録音時に自動的に付けられるファイル名を設定します。
ファイル フォーマット	録音する WAV ファイルの録音形式を設定することができます。 録音の形式は、各インプットの録音結果を別々のファイルにするモノ、またはインプット 1、2 の録音結果をまとめて 1 つのファイルにするステレオから選択することができます。
プリ録音	入力信号を常に一定時間蓄えておくことにより、録音開始した時点からさかのぼって録音ができます。
サウンドマーカー	録音開始時に出力端子からトーン信号を鳴らすことができます。 トーン信号は録音ファイルにも書き込まれます。
録音カウンター	録音時に、録音経過時間を表示するか、残りの録音可能時間を表示するかを設定します。
ヘッドフォン 通知音レベル	録音開始・終了時などにヘッドフォンに出力する通知音の音量を設定します。
ライン出力レベル	ライン出力レベルを調節します。 デジタル一眼レフカメラなどとのレベル調節のために、テストトーンを再生することもできます。
ライン出力 リミッター	ライン出力にリミッターをかけることで、レベルが高すぎる信号を抑えることができます。ライン出力端子に接続した機器を保護できます。
ライン出力 ディレイ	ライン出力を遅らせることで、出力先の機器に入力される音のタイミングのズレを補正できます。
USB オーディオ I/F	F3 を 2IN / 2OUT のオーディオインターフェースとして使用できます。
USB ファイル転送	パソコンと接続して、microSD カード内のデータの確認やコピーができます。
Bluetooth® 設定	専用無線アダプター (ZOOM BTA-1 など) を接続することで、専用のコントローラーアプリケーション「F3 Control」を使用してスマートフォン / タブレットから操作することができます。 また、対応するタイムコード機器と接続して、F3 に SMPTE タイムコードを入力できます。

各機能の詳細については、オペレーションマニュアルを参照してください。

故障かなと思う前に

電源が ON にならない

- HOLD REC ● が「HOLD」側にスライドされていないことを確認してください。

録音できない

- REC LED が赤く点灯していることを確認してください。
- microSD カードに空き容量があることを確認してください。
- カードスロットに microSD カードが正しくセットされていることを確認してください。
- 入力ソースが「オフ」になっていないか確認してください。

音が出ない、非常に小さい

- マイクの向きや接続機器の音量設定を確認してください。
- ヘッドフォンの音量やライン出力レベルが下がっていないか確認してください。

録音した音が聞こえない、もしくは小さい

- 入力ソースの設定が接続機器にあっているか確認してください。

文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

Windows® は、Microsoft® 社の商標または登録商標です。

Mac、iPadOS は、Apple Inc. の商標または登録商標です。

iOS は、米国をはじめとする国々における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用しています。

Android は、Google LLC の商標です。

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社ズームはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

zoom®

株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3

zoomcorp.com